

氏名	松 村 和 良
学 位 の 種 類	医 学 博 士
学 位 授 与 番 号	乙 第 1122 号
学 位 授 与 の 日 付	昭 和 5 5 年 6 月 3 0 日
学 位 授 与 の 要 件	博士の学位論文提出者 (学位規則第 5 条第 2 項該当)
学 位 論 文 題 目	幼犬における永久歯歯胚の有無による乳歯歯根の運命に関する 実験的研究
論 文 審 査 委 員	教授 大内 弘 教授 小川 勝士 教授 小倉 義郎

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

乳歯と永久歯の交換期における乳歯歯根の吸収機転には、変性、永久歯歯胚による機械的圧迫や骨、歯の改造などがあり、いずれにせよ乳歯歯根の吸収には血管の増殖、充血が必要であるといわれている。しかし永久歯歯胚の有無による乳歯歯根の吸収過程における血管像の変化に関する報告は、私の渉猟した範囲ではみられなかった。

私は幼犬を用い、永久歯歯胚摘出後の乳歯歯根の吸収過程における血管像の変化をクロロパーチャ血管注入法を応用し、立体的、形態的に観察し、さらに病理組織学的、X線学的にも検討し、以下の結果を得た。

1) 血管像の変化は、第四前臼歯歯胚を摘出した右下顎第三乳臼歯の実験側、左同名歯の対照側とも乳歯歯根吸収部に密な毛細血管網の形成がみられ、初期は主として乳歯歯根膜の血管、その後は乳歯歯髄、歯槽部、歯肉の血管が関与していた。この際対照側では、永久歯歯小囊の外層の血管も吸収に関与していた。

2) 病理組織学的には、実験、対照側ともに乳歯歯根吸収部では密な毛細血管網と相接して多数の破骨細胞がみられた。

3) X線学的には、乳歯歯根吸収は実験側では術後 45 日目、対照側では術後 20 日目頃より乳歯の根端部、一部では歯根外側からはじまり、根分岐部、根中央部内外側の吸収が次第に著明にみられた。しかし実験側では、対照側にみられたような近接する永久歯歯胚外形に沿った乳歯歯根吸収はみられなかった。

4) 血管像の変化、病理組織学的、X線学的所見において、ある程度の相関関係が認められた。

論文審査の結果の要旨

本研究は永久歯胚の有無による乳歯根吸収脱落の過程の差違を，幼犬を用い，血管像を中心としX線像，組織像と比較しながら明らかにしたものであって，乳歯・永久歯交換の機作の解明に資する重要な知見を得た価値ある業績であると認める。

よって，本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。